

令和3年度学生による授業評価にもとづく学長表彰

情報リテラシーの取り組みについて

医用情報工学科 / 医療健康データサイエンス学科 山下 幸司

今回紹介する科目は看護学科対象の情報リテラシーですが、臨床検査学専攻の科目も同様に行っております。また ZOOM も用いた遠隔形態です。この科目は大学生活・卒後に向けて ICT の知識・技能を全般的に身につけるように、この講義を通じて様々な経験をして専門につながれるように、このような状況下なので、ICT（情報通信技術）を使えないといったことで不利にならないように、すこしでも苦手意識をもたないように思っています。

具体的な内容として、実習面では、インターネット/メール、文書作成、表計算、プレゼンテーション/発表で、知識面では、コンピュータ知識や情報セキュリティ・倫理も実施しています。

取り組みとして、講義資料は遅くとも前日までに SUMS-PO の公開、コース管理によって資料の整理（講義資料、課題等の提出物等）、操作方法については動画ファイルでも公開、ZOOM の投票機能を使っての確認テスト、SUMS-PO の試験機能、課題管理、小試験ごとにフィードバックを実施しています。

質問対応については、SUMS-PO の Q&A、ZOOM の講義中のチャット、ブレイクアウトルームで個別に実施を行っています。さらにブレイクアウトルームを活用して簡単なグループワークも実施してもらいました。

学生さんからのコメントとして、パソコンがすこし苦手だったけど苦手意識がなくなったなどもあり教員としてはうれしいです。

今後も ICT を使えるといったことは重要な要素になるので、様々な取り組みを実施していきたいと思えます。

勉強しやすい環境づくりを大切にしています

放射線技術科学科 中舎 幸司

この度は 2021 年度学生授業評価高得点賞を受賞し大変うれしく感じております。X 線画像技術学Ⅱは 2 年次前期開講科目で、X 線造影検査に関する内容となっております。2021 年度前期も Zoom での講義であり、ここ数年行っていた Zoom で行える技術を最大限に活用したこと、また本科目にも Learning Box も導入していること、さらに SUMS-PO の Q & A や Zoom でのチャット、リフレクションシートを使用して学生の満足できる講義内容にその都度軌道修正を行うことができたことが良かったと感じております。また、私はいつも講義で心掛けていることがあります。いつも学生目線で考え、いつも笑顔で接し、どの質問に対しても誠意をもって対応し、担当科目を好きになってもらえるよう愛情を込めて講義を行うようにしています。このように学生対応もしっかりと行うことで学生の勉強しやすい環境づくりに寄与していたと感じています。今後も学生満足度が上がるよう教育について勉強していきたいと思えます。

1年を通して工夫してきたこと

医療福祉学科 大橋 明

これまで私が出会ってきた恩師に共通してみられるのは、学生の好奇心と執念を涵養する講義を行っていることです。私も執念をゼミで、好奇心を1～2年の担当講義で育てることができればと考え、講義ではリアクションペーパーを通して感想・疑問を毎回書くことを課しました。その内容を次の講義冒頭で紹介し解説することで、学生たちは「このように考えているのは自分だけではない」「他の学生はこのようなことを考えていた」と意識でき、考えることが活発化したように思います。また、心理職を目指す上で重要な意見や疑問、学生として当然の悩み、講義そのものへの意見も出されます。それらにも返答していきましたが、講義をするだけではない試みとして評価されたのかもしれませんが。その他、理論や用語を覚えさせるだけでなく、日常生活に落とし込んでイメージさせること、新しい知見を講義に組みこむことを大事にしてきたつもりです。